

# プーチンを攻撃するための、米政府 - ソロス援助によるパ ナマ文書——ウィキリークス

【訳者注】この事件がどう展開するかまだわからないので、とりあえず、この翌日（8日）に出た「パナマ・ジレンマ」という見出しの RT 報道の冒頭を訳すことにする。アメリカは、プーチンとロシアを陥れるためには、それ以上に自分が傷つかなければならないことは確かなようだ。

反米リークにいつも神経を尖らせ、警告者に厳しい米高官が、この度は「パナマ文書」がどうやって明るみに出たかには無関心なようだ。記者団に追及されると、国務省は、このアメリカの援助によるリークが、実はデータ盗みなのかどうか言えなかった。

米国務省報道官 Mark Toner は木曜日、パナマ・リークに関して、USAID を介し米政府の一部援助によってこれを公表した、調査報告グループについて、どのようなスタンスを取るべきか、ひどく狼狽している様子がみえた。

AP 記者 Matt Lee が、米政府は、「調査ジャーナリスト国際コンソーシアム」（ICIJ）の発表した文書を、盗まれたものと見ているのかと尋ねると、トナーはその質問をかわし、「それを決めるのはパナマの法制度か法プロセスだ」と言った。

April 7, 2016

RT (Russia Today)

<http://on.rt.com/79bv>

(US government, Soros funded Panama Papers to attack Putin—WikiLeaks)

「パナマ文書」と呼ばれる最近、明るみに出たオフショアのカネの背後には、ワシントンが存在すると、ウィキリークスが主張し、この攻撃は、ロシアとプーチン大統領をターゲットにして“演出”されたものだと語った。

<https://twitter.com/wikileaks>

(#Panama Papers Putin attack was produced by OCCRP which targets Russia &

President Putin)

水曜日、国際警告組織がツイッターに載せたところによると、この「パナマ文書」データの漏えいは、「組織犯罪・腐敗報告プロジェクト」(OCCRP)の手によるもので、「ロシアと前ソ連をターゲットにするものである」。この“プーチン攻撃”は、「国際的開発のための米情報局」(USAID)と、アメリカのヘッジファンド億万長者、ジョージ・ソロス(George Soros)の援助によるもので、このような攻撃を米政府が援助するやり方は、アメリカの威信に深刻な打撃を与えるものだと、ウィキリークスは言っている。

<https://twitter.com/wikileaks>

[http://twitter.com/wikileaks/status/717670056650530816/photo/1?ref\\_src=twsrc%5Etfw](http://twitter.com/wikileaks/status/717670056650530816/photo/1?ref_src=twsrc%5Etfw)

[https://twitter.com/wikileaks?ref\\_src=twsrc%5Etfw](https://twitter.com/wikileaks?ref_src=twsrc%5Etfw)

ソロスに所属するいろいろの組織は、ロシアでは“望ましくない”ものと宣言されている。昨年、ロシア法務省は、ソロスの「公開社会基金」と「公開社会機関援助基金」を、彼らのプロジェクトのすべてに、ロシア市民と組織が参加できないようにするもので、望ましくない団体として認定した。

検察官たちはその時、この機関やその基金の活動は、ロシアの憲法秩序と国家安全保障の根幹にとって脅威であると言った。今年初め、この億万長者の米投資家は、プーチンは、アメリカとEUのリーダーにとって“決して同盟者でなく”、彼は“ヨーロッパを分断することによってかなりの経済的利益”を狙っていると言った。

[http://twitter.com/RT\\_com/status/717239344562585600/photo/1](http://twitter.com/RT_com/status/717239344562585600/photo/1)

<https://twitter.com/hashtag/PanamaPapers?src=hash>

ドイツのジャーナリスト・作家の Ernst Wolff は、RTにこう語った——「アメリカ政府は、世界中で不安定化政策を遂行しており、このリークもまた、不安定化の目的に役立つものだ。彼らは、世界中の多くの人々と多くのカネが、アメリカのこの(新しい)税金天国へ入ってくるように仕掛けている。アメリカは、超大型金融危機に備えており、彼らはそれらすべてのカネが、自分たちの金庫にあって、他国の金庫にはないことを望んでいるのだ。」

関連記事：「“パナマ文書”会社がアメリカに1000以上のビジネスを作る」

<https://www.rt.com/usa/338684-panama-papers-usa-connections/>

今週早く、パナマ文書を調査していた「調査ジャーナリスト国際コンソーシアム」(ICIJ)

の会長は、このリークの対象はプーチンではなく、この暴露の目的はむしろ、国際的な慣行になっているオフショアの不明朗な習慣に光を当てることだと言った。「それはロシアについての物語ではなかった。それはオフショア世界についての物語だった」と、ICIJ の Gerard Ryle 会長はタス通信に話した。

彼の声明は、“オフショアの歴史上最大のリーク” の国際的なメディア報道と、完全に裏腹のものだ。ウラジミール・プーチンも、彼の家族のどんなメンバーも、この文書に直接あげられていないにもかかわらず、多くの主流メディアは、この話をブレイクするときに、ロシア大統領の写真を選んだ。

**関連記事**：「パナマ・リークは、ウラジミール・プーチンより、西側ジャーナリズムについて多くを語る」 <https://www.rt.com/op-edge/338388-putin-western-media-leaks/>

前 CIA 高官 Ray McGovern は RT にこう話した——「匂わせるということはやりますが、西側のメディアには倫理基準というものが全くないのです。これをリークした人の犯した大きな間違いは、企業メディアにこれらの文書を与えたことです。これがそれほど深刻なことではなかったとしたら、滑稽な話になる。」

クレムリンの報道官ドミートリ・ペスコフは、この報道によって火のついた反ロシア感情について、こう語った——「プーチン憎悪のひどさは、ロシアについて、あるいはロシアの行動や成功について、少しでも好意的に語る事が不可能なほどなのです。人は（ロシアについて）悪く言わねばならず、悪く言うほどよいのです。何も言うことがないときには、でっちあげねばならない。」

### “責任ある報道” でなく、パナマ文書こそ完全公開しなければならない

ウィキリークスのスポークスマンであり、アイスランドの調査ジャーナリストの Kristinn Hrafnsson は、リークされたデータをネット上に公開し、あらゆる人がこの文書を調べることができるようにせよと要求している。彼はこの文書を隠すことは、“責任あるジャーナリズム” とはみなされないと言う。

<https://twitter.com/wikileaks>

(パナマ文書：もしあなたがこの文書の 99%以上を検閲するなら、あなたは定義上、1% のジャーナリズムにかかわっている)

「彼らが、これは責任あるジャーナリズムだと言う場合、私はそういう彼らの言い方に、全

面的に反対します」と、この「調査ジャーナリズムのためのアイスランド・センター」の共同創設者は、[Going Underground](https://www.rt.com/shows/going-underground/338604-panama-papers-refugee-crisis/)の中で、RT 記者 Afshin Rattansi に話した。彼は ICIJ 会長の発言をどう思うかと尋ねられると、コンソーシアムはウィキリークスではない、彼らは、ジャーナリズムは、文書全体を公開しないことによって責任を果たすことができると言おうとしている、と答えた。<https://www.rt.com/shows/going-underground/338604-panama-papers-refugee-crisis/>

<https://youtu.be/zrKzKpBbmro>

(パナマ文書リークは全体を公開せよ——ウィキリークスが RT に語る)

「こうしたことは、一般大衆に対して公開すべきで、このデータを直接調べられるジャーナリスト仲間だけでなく、あらゆる人が利用できるようにすべきです」と Hrafnsson は言った。

**関連記事**：「ロシアの調査団が、パナマ文書データ・リークの犯罪調査に乗り出す」

<https://www.rt.com/politics/338531-russia-investigation-panama-leaks/>

このウィキリークスのスポークスマンは、また RT に、このパナマの法律事務所のリークされた 1,550 万のドキュメントの中に、アメリカ人のビッグ・ネームがなかったことに、驚いてはいないと語った。

「それはアメリカの利益上、少なくとも、かなり事実が曲げられていると思われます。それはジャーナリストの偏見ではなく、文書そのものの歪曲である可能性は常にあります」と Hrafnsson は言い、Mossack Fonseca 社は、ほとんどイギリス領ヴァージン諸島出身の、税金天国の便宜を図り、その会社を提供する、パナマの一つの法律事務所にすぎないと付け加えた。

[http://twitter.com/RT\\_com/status/716695219337605121/photo/1](http://twitter.com/RT_com/status/716695219337605121/photo/1)